

# 施策分析シート

No1

<b>施策名</b>	伝統的文化の保存と継承	<b>施策No</b>	04-05	<b>部課名</b>	教育委員会事務局社会教育課	
				<b>課長名</b>	阿部忠資	<b>内線</b> 3350
<b>関連部課名</b>						
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業・教育・文化				
	<b>政策</b>	地域に根ざした生涯学習の推進				
<b>目的</b>	区内に伝わる有形・無形の文化財を保存し、地域において継承していく基盤を整備すると共に、郷土の歴史、地域について学ぶ機会を提供することにより、荒川区の教育、文化の発展に寄与することを目的とする。					
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
	① 荒川ふるさと文化館利用者数	22,499	21,748	23,000	25,000	展示室観覧者＋郷土学習室利用者
	② 荒川ふるさと文化館企画展示室稼働率	69.1	65.0	60	80.0	企画展示室開館日数／文化館開館日数
	③ 伝統技術展入場者数	21,000	12,000	15,000	21,000	
④ 文化財指定・登録件数 (累計)	3 (301)	8 (309)	8 (317)	8 (349)		
<b>現状と課題</b>	<p>○荒川ふるさと文化館は、荒川区の歴史や文化について、児童・生徒を始め、多くの区民に正しく伝え、郷土に対する誇りと愛着を持ってもらうために必要不可欠である。荒川区の歴史や文化についてより深く理解してもらうために、企画展示等の事業について検討する必要がある。</p> <p>○江戸時代から受け継がれてきた区内の伝統工芸技術について、保存継承し、広く区民に紹介していくことは重要であるが、後継者が不在の職人もいる。</p> <p>○区内には、荒川区の歴史や文化を伝える文化財、史跡が数多くあり、これを保護し、次代に伝えていく必要がある。しかし、区内全域で網羅的に調査しておらず、建造物や近代遺産については実態を把握できていない。</p>					
<b>今後の方向性</b>	<p>○千住大橋鉄橋架橋80周年記念（平成19年度）など、時期に合った企画展等の事業を開催することで荒川区の魅力をPRしていく。</p> <p>○子ども向けの講座について、子どもたちが区内の伝統工芸技術に触れる機会を多く設けることで、子どもたちが伝統工芸技術に興味を持つ動機付けとする。また、今後一斉退職が予定されている団塊世代向けの講座を検討し、生涯学習として団塊世代が伝統工芸技術に触れる機会を提供する。</p> <p>○文化財保護推進員に区内の史跡・文化財について調査依頼し、更に情報提供を促すほか、荒川史談会等関係団体から情報提供を受けることで実態把握に努めていく。</p>					

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
C	荒川区の歴史や文化を伝える文化財や史跡、伝統的工芸技術を保存・継承していくことは重要であるため、継続して実施する。

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
荒川ふるさと文化館管理運営費	12-04-30	49,728	42,065	C	郷土の歴史や文化に親しむ施設を運営するため、必要である。
荒川ふるさと文化館事業推進費	12-04-31	8,723	6,150	B	郷土の歴史や文化に親しむ講座や展示等を提供する事業として、優先度が高い。
文化財保護奨励	12-04-32	5,705	16,646	B	区の有形・無形文化財を次代に伝えるため、必要性が高い。
江戸伝統技術	12-04-33	14,726	12,034	B	区の伝統工芸技術について理解を深めるため、必要性が高い。
合 計		78,882	76,895		